

外来診療担当医表

■ 診療時間 午前 8:30~12:30 午後 13:30~17:30

診療科目	月	火	水	木	金	土	日
内科	一般内科	佐藤 (午前のみ) 内之倉 (第2・4週) 吉田 (第1・3週)	内之倉 牧野	木村	田中	内之倉 木村	当番医師
	一般内科 腎臓内科	永野	永野	永野	永野		
	循環器内科			田中			
	代謝内科					九州大学	
	神経内科				原 (第2・4週)		
血液内科	白藤 (第2週目)						
整形外科 リハビリテーション	午前	福岡大学 (10:00過ぎ~)	整形外科担当医 (10:00過ぎ~)	整形外科担当医 (~17:00)		福岡大学 (10:00過ぎ~17:00)	福岡大学 (第2・4週)
	午後			木山/松田			
小児科	吉田 (午後のみ)		吉田 (午後のみ)	吉田 (午後のみ)	吉田 (午後のみ)		
耳鼻咽喉科	長崎大学 (9:30~)	長崎大学 (12:30迄)			長崎大学 (9:30~)	長崎大学 (12:30迄)	
精神科				精神科担当医 10:00過ぎ~ (第1・3週)	精神科担当医 (第1・3週)		
泌尿器科	宮崎 (午前のみ)	宮崎 (午前のみ)	宮崎 (午前のみ)	宮崎 (午前のみ)	宮崎 (午前のみ)		
眼科						九州大学 (第2・4週)	
皮膚科		武田 10:40~ (第1・3・5週)					
人工透析	永野	木村	木村	永野	永野	永野	
消化器検査(内視鏡)		清水	清水	清水			

当番医師

(内科系)午後担当医	師岡(第1・3・4週) 白藤(第2週)	内之倉	田中	木村	田中/吉田/牧野 (交代で)	当番医師	当番医師
------------	------------------------	-----	----	----	-------------------	------	------

【備考】

- ・内科系の午後診療は、当番制となっております。
- ・内科/発達小児科/精神科/泌尿器科/眼科においては「予約制」を導入しております。
- ・休診日は、祝日午後・土曜日午後及び日曜日。時間外・休日等は、当番医師にて急患対応致します。



交通アクセス

- 天草空港より車で25分
- 本渡バスセンターよりバスで40分
- ➔天草慈恵病院前 停留所下車 徒歩2分



救急告示病院
社会医療法人 稲穂会

天草慈恵病院



ホームページ URL <http://www.inahokai.com/>

■熊本県天草郡苓北町上津深江278-10

社会医療法人稲穂会 天草慈恵病院	TEL 0969-37-1111(代)
医療連携室	TEL 0969-37-1150
健診センター	TEL 0969-37-1730
通所リハビリテーション 湯湯館	TEL 0969-37-1202
温泉プール 悠遊館	TEL 0969-37-1111
ケアプランサービス JCS24	TEL 0969-37-1111
訪問看護ステーション はまゆう	TEL 0969-37-0288
ヘルパーステーション JCS24	TEL 0969-37-1111
介護老人保健施設 慈恵苑	TEL 0969-37-1567
天草慈恵病院 介護医療院	TEL 0969-37-1111

■熊本県天草郡苓北町富岡2228-16

住宅型有料老人ホーム 和 TEL 0969-35-0171

■熊本県天草市河浦町河浦4660-1

訪問看護ステーションはまゆうサテライト河浦 TEL 0969-76-0101

医療・介護・福祉の総合的・複合的サービス提供

AMAKUSA JIKEI HOSPITAL

天草慈恵だより

2026 VOL.53 3月号

発行：社会医療法人 稲穂会 天草慈恵病院

CONTENTS

- 病院機能評価の更新認定
- 第22回院内活動発表会
- 土曜外来
- 免荷式歩行リフトPOPO導入 ほか



「にぎやかに」

病院機能評価の更新認定

このたび、日本医療機能評価機構による病院機能評価の更新審査を受審し、無事に認定をいただくことができました。病院機能評価は、第三者機関が中立的・科学的・専門的な立場から医療の質や安全体制を評価し、その結果を継続的な改善につなげていくことを目的としています。今回当院は、主たる機能「一般病院1」に加え、副機能として初めて「リハビリテーション病院」での受審を行い、急性期から回復期、在宅支援までの一貫した医療提供体制について総合的な評価を受けました。

訪問調査は昨年7月に実施されましたが、約1年半前からチーム会やキックオフ会議、模擬審査を重ね、診療体制や医療安全、感染対策、患者サービス、地域連携など多岐にわたる分野で院内改善活動に取り組んできました。部署横断的な協力体制のもと準備を進めたことは、職員一人ひとりの意識向上にもつながり、組織力の強化という面でも大きな成果となりました。

当日はサーベイヤーとの活発な意見交換を通じて、新たな課題や気づきも得ることができ、今回の受審は単なる認定取得にとどまらず、今後の病院運営の質向上に向けた貴重な機会となりました。今後もご指摘いただいた内容を真摯に受け止め、業務の見直しと改善を継続するとともに、持続可能で質の高い医療提供体制の確保に努めてまいります。地域の皆さまにより一層信頼され、安心してご利用いただける病院を目指し、職員一同取り組んでまいりますので、引き続きご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。



天草慈恵病院の『回復期リハビリテーション病棟』

天草慈恵病院では、急性期治療後の患者様に対し医療専門医(医師・看護師・ケアワーカー・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・ソーシャルワーカー・薬剤師・管理栄養士等)がチームを組んで「日常生活動作向上、寝たきり防止、家庭復帰」を目標に専門的なリハビリテーションプログラムを実施しています。

最近の退院事例

C様は、A病院加療後、リハビリ目的で当院へ転院。当初は右上肢麻痺の影響で車椅子を使用する程、生活動作に介助を要していました。

理学療法では、下肢機能訓練や基本動作訓練、歩行訓練を、作業療法では上肢・手指機能訓練や日常動作訓練を実施しました。

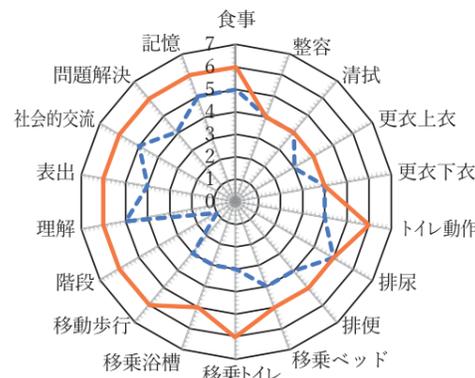
退院時は杖歩行自立し、階段昇降も手すりを使用すれば自立レベルまで改善しました。また、自宅訪問を行い、住宅改修と福祉用具のレンタルを提案し、環境調整を実施。生活動作では、実用手レベルまで改善し、自助具箸を使用し食事が摂取可能となりました。

言語療法では、入院時、声量の低下、構音の歪みによる構音障害があり、会話中に聞き返しを要していました。構音訓練を実施し、退院時には会話での聞き返しが必要ないほどとなりました。

退院後は自宅で生活、デイケアにてリハビリ継続を予定しています。

FIM	入院時	退院時
食事	5	6
整容	4	4
清拭	4	4
更衣上衣	3	4
更衣下衣	4	4
トイレ動作	4	6
排尿	5	5
排便	4	5
移乗ベッド	4	5
移乗トイレ	3	6
移乗浴槽	3	5
移動歩行	3	6
階段	1	6
理解	5	6
表出	4	6
社会的交流	5	6
問題解決	4	6
記憶	5	6

FIM



	入院時	退院時
FIM 運動計	46	66
FIM 認知計	23	30
FIM 計	69	96

回復期リハビリテーション病棟のお問合せ先

- 天草慈恵病院
代表 TEL **0969-37-1111**
- 医療連携室
直通 TEL **0969-37-1150**
直通 FAX **0969-37-1160**

第22回院内活動発表会

12月13日(土)、第22回院内活動発表会を開催しました。今年のテーマは『チーム力で作る成果と信頼』とし、各部署より13題の発表がありました。発表は3グループに分かれ、各セッションの座長が進行を務める形をとりました。発表後には、全職員対象にアンケート調査を行い、良かった部署については表彰も行うことができました。日頃知らない各部署での取り組みを聞くことができ、とても勉強になりましたし、今後の業務を行う上でも参考になったことと思います。今後も継続して行っていききたいと思います。



優秀作品

- 最優秀賞 放射線：撮影・処置工夫で所見見落とし減少を図る
～患者負担の軽減と画像の質向上～
- 優秀賞 リハビリ：これだけ体操～リハビリ室から腰痛対策提案～
- 優良賞 介護医療院：接触への取り組み～思いを生かす～

土曜日外来のご案内

整形外科

当院の整形外科では月～金曜日までの外来診療の他、土曜日にも外来診療を行っております。

土曜外来診療日(2026年3～4月)

3月の診療は 14日・28日

4月の診療は 11日・25日

担当医

8:30～14:30

福大整形外科 医師



代謝内科・眼科

当院では、九州大学病院代謝内科医・眼科医による診療を行なっています。

外来診療のみで、眼科疾患全般を対象としています。詳しくは、受付窓口までお問い合わせください。

診療日程(2026年3～4月)

代謝内科診療：3月7日・14日・21日・28日

4月4日・11日・18日・25日

眼科診療：3月14日・28日

4月11日・25日

診療時間

8:30～14:30



免荷式歩行リフトPOPOを導入しました

天草慈恵病院では、このたび免荷式歩行リフト「POPO」を導入しました。本機器は、0～40kgの範囲で体重を免荷(※体重をかけないこと)しながら歩行練習ができるコンパクトな歩行器で、運動麻痺や筋力低下のある患者様に対しても安全に早期からの歩行訓練を行うことが可能となります。

歩行時に身体を支えることで転倒リスクを大幅に軽減でき、患者様だけでなく介助するスタッフにとっても安心してリハビリテーションを実施できる点が大きな特徴です。また、体重負荷を調整できるため、痛みのある方でも負担を軽減しながら歩行練習を進めることができ、回復過程に応じた段階的な訓練が可能になります。脳卒中後の運動麻痺のある方や整形外科疾患の患者様の早期離床、歩行再獲得の促進にも効果が期待されています。

当院では、今後も患者様の状態に合わせた安全で質の高いリハビリテーションを提供できるよう、設備の充実と技術向上に努めてまいります。地域の皆さまが安心して治療やリハビリに取り組んでいただける環境づくりを進めてまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

